

集落協定の主な取組事例

(別紙)

○ドローンを活用した集落ぐるみの共同防除作業

むろのう

室納 集落協定(吉備中央町)

協定面積：31.9ha 交付金額：674万円

吉備中央町の中部にある室納地区は、基盤整備事業によりほ場の区画が整備された地区で、地域住民が一体となって農地等の保全に努めている。

令和2年度より、生産性向上加算を活用し、ドローン操作資格と機体の購入を行い、集落ぐるみで共同防除作業を行うことで、労力の軽減と効率化を行い、将来にわたり農地の保全を行っていく体制の構築を進めている。

【主な取組実績】

- ドローンを使っでの共同防除作業
- 農道・水路等の維持管理・整備



専用オペレーターの育成



ドローンでの空中散布の様子

○農福連携による就労支援

ひらまつわさむぎ

平松・早麦集落協定(井原市美星町)

協定面積：9.7ha 交付金額：217万円

高齢化が進む現状の中、将来の農地の保全を模索するため、農福連携による障害者支援学校と連携した就労体験を受け入れ、地域住民との交流を行い、新規就労へつながる活動に取り組んでいる。

また、構成員による農業用ドローンを使った水稻防除作業に取り組み、個人作業の負担軽減と集団防除による効果増を図る農業のスマート化を進めている。

【主な取組実績】

- 農福連携による就労体験と交流
- 農業用ドローンによる集団防除



障害者支援学校と連携した就労体験



ドローンによる防除作業

○歴史ある農業用水「まんぷ」を守り活かす!

いなほ

稲穂集落協定(美作市)

協定面積：5.7ha 交付金額：71万円

協定内には「まんぷ」と呼ばれる農業用水がある。貯水量が少ないため池に水を集めるため、明治時代中期に山瀬を集める集水溝と、集めた水を池に送る長さ約46mの隧道を人力で開削。

以来、集落の共同活動としてまんぷの保安全管理を行っており、現在でも川からポンプアップした水を通し、周辺の水田約7haを潤している。

毎年、地元小学生を校外学習の一環として受け入れ、農業に対する理解を深める機会をつくり、ともに先人たちの偉業を語り継いでいる。

【主な取組実績】

- 周辺の草刈、水路管理等による機能維持と景観の保全
- 地元小学校と連携した校外学習の場の提供



農業用水「まんぷ」



校外学習での体験風景